

ペストコントロール一筋
おかげさまで、アベックス産業は
2019年12月21日に創立70周年を
迎えました

（ペストとは英語でヒトに有害な生物全般をいいます）

昭和24年12月、当社はアベックス 燻蒸(株)として設立されました



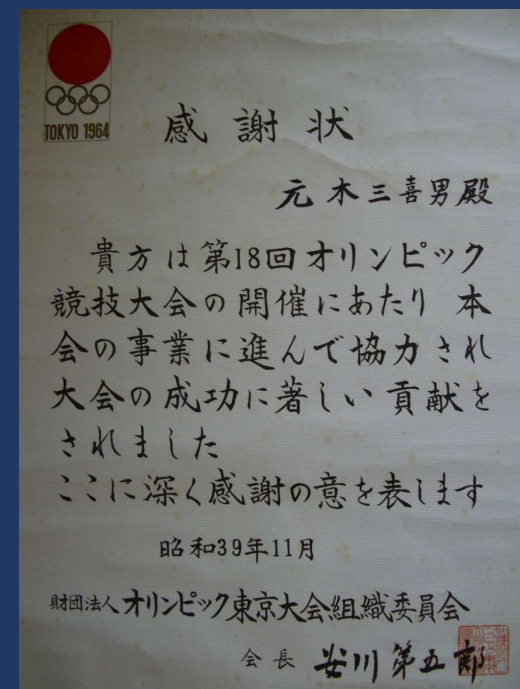
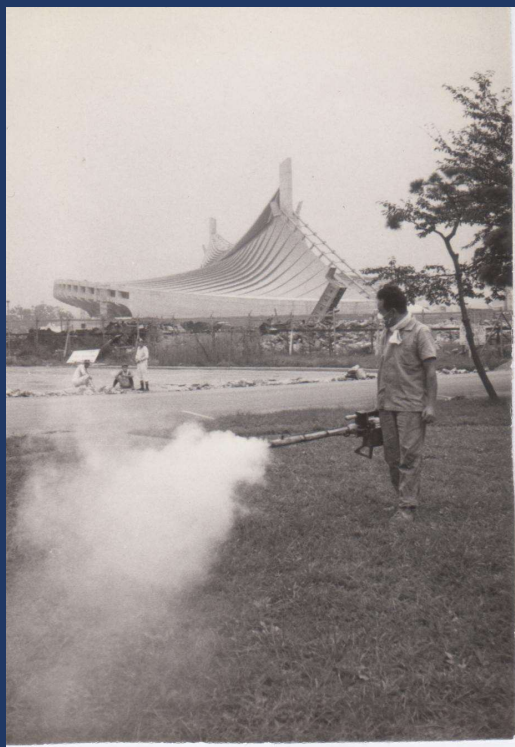
昭和26年（1951年）サイパン島
アフリカマイマイ燻蒸



昭和40年（1965年）女性自身



昭和39年、東京オリンピック に協力、感謝状をいただきました



朝日新聞2019年9月21日版

第3種郵便物認可

享月 日 葉月 辰月 (夕刊)

2019年(令和元年)9月21日(土) 4版 10

東京五輪物語

1964 - 1919 - 2020

開幕前年⑨

国立競技場に殺虫剤

蚊やハエ退治 防げ感染症

都内の害虫駆除会社「アベックス産業」には大会組織委員会からの感謝状がかかる。現社長の元木貢さん(76)の父、三喜男さん(故人)が副理事長だった「東京都殺虫消毒同業協会」(当時)が、五輪会場などの害虫駆除を550万円で請け負ったという。元木さんは「環境も使われる薬も対策も、今では大きく変わった。けれど今でもグローバル化や温暖化が進むなか、感染症の脅威は大きい」と話す。今年の9月2日、休園日の東京・新宿御苑で殺虫剤が噴霧さ

国立競技場に立ち上る入道雲のような煙。1964年東京五輪の1年前の63年10月、競技場では消毒が行われていた。五輪のリハーサルといわれた「東京国際スポーツ大会」を控え、殺虫剤がまかれた。当時の新聞は、「力もハエも一匹も出ない」と話す係員たちの様子を「自信満々」と紹介している。当時、蚊やハエは脅威だった。蚊が媒介する日本脳炎は60年代、患者の報告数が国内で2千人を超える年もあった。東京23区の下水道普及率は63年3月末時点で23%足らず。トイレの多くはくみ取り式でハエが発生し、川ではボウフラが湧いた。蚊とハエをなくす運動が推奨され、便所に薬剤を散布したり、殺虫剤のオイルを塗った折り鶴を配ったりする地域もあった。

れた。来夏の東京大会を前に、蚊から病原ウイルスが検出された想定し、感染した蚊を駆除する訓練だった。デング熱が国内で発生し、161人が感染したのは5年前。代々木公園(東京都渋谷区)の蚊がその多くを媒介したとされる。ウエストナイル熱といった蚊が媒介する別の感染症も米国などで広まっている。

「五輪で海外から多くの方が来られれば、ウイルスが入るリスクも高まる。万が一、感染者が出ても被害を最小限に食い止めないといけない」。訓練の中心となった国立感染症研究所昆虫医科学部長の葛西真治さん(49)は話す。「日本で不安な思いをしてほしくない。きちんとした環境で迎えたいという気持ちには(64年大会と)通じるものがありますね」(萩原千明)



国立競技場を消毒する保健所の職員ら。当時の記事によると、選手の控室や近くの工事現場などをしらみつぶしに回り、DDTとBHCの混合油剤を散布したという。今ではいずれの物質も国内での製造や使用が禁じられている

＝1963年、東京都



1964年大会の時の感謝状を手にするアベックス産業の元木貢社長＝東京都港区

思い出の写真をお寄せ下さい

東京五輪の思い出の写真をお寄せ下さい。当時の写真をコピーして裏に説明を書き、〒104・8011(所在地不要)朝日新聞編集局スポーツ部「五輪物語」係へ。写真はお返できませんので、必ずコピーをお送り下さい。電子データはメール(gorinmonogatari@asahi.com)でも受け付けています。

昭和43年、創業者・元木三喜男は全国の同業者に呼びかけ、日本害虫防除連合会を設立、初代理事長に就任しました。この組織は現在、公益社団法人日本ペストコントロール協会として900社が加入、ペストコントロール技術者、技能師など資格制度、行政に代わる害虫相談、従事者研修、指導者育成、感染症対策に取り組んでいます。



元木三喜男会長（当時）



アジア・オセアニアPCO連合会設立
総会（左・創業者、中・佐々学博士）

昭和44年

2代目社長・元木貢が入社、東京大学医科学研究所寄生虫研究部佐々学博士のもと、研究生として衛生動物学を学びました。その後、同門の鈴木猛先生、緒方一喜先生、田中生男先生、安居院先生、武藤先生、田原先生ほか多数の先生方のご指導のもと協会が発展していきました。

昭和47年、神戸支店
横浜支店、燻蒸部門を
暖簾分けしました

平成2年1月31日 不審火による火災に遭遇しました



平成6年3月、社屋を新築。東京大学医科学研究所、東京女子医科大学OBの先生を迎え、研究室を開設しました。飼育室ではゴキブリ・ダニをはじめさまざまな害虫を飼育して、日々、試験を行っています。



平成9年

創業者・元木三喜男が生活衛生功労
で勲5等双光旭日章を受賞



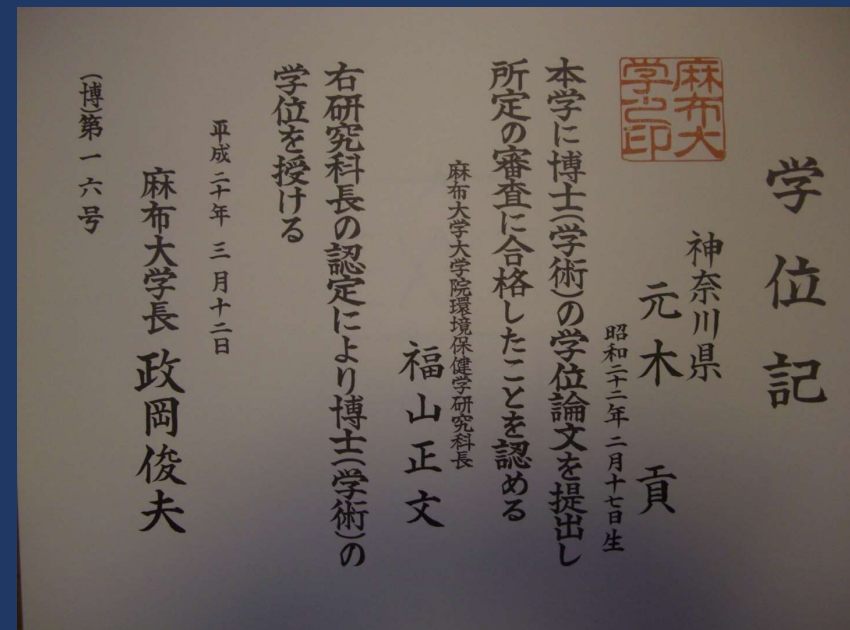
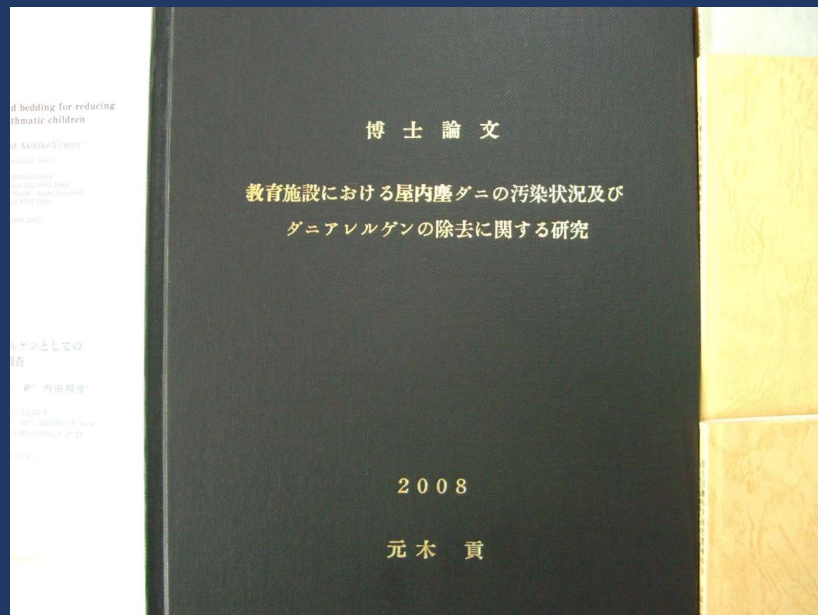
平成7年4月、新卒採用を開始、 現在2名の取締役が誕生しています



合同会社説明会

平成20年

元木社長が麻布大学で「教育施設における屋内塵ダニの汚染状況及びダニアレルゲンの研究」で学位を取得しました。



平成23年
東日本大震災でハ工
が大量発生。
竹田取締役が駆除に
出動しました。



- ・平成26年、代々木公園からデング熱発生
東京都との協定により蚊駆除作業を行いました
- ・平成28年には新潟県における鳥インフル
エンザの車輛消毒に出動しました



平成29年
元木貢が生活衛生功労により旭日双光章を
受賞しました。



平成28年
日本ペストロギー
学会・学会長に
就任、東京大会の
大会長を務めました。

第33回
日本ペストロギー学会
東京大会のご案内

東京大会は第20回江戸東京博物館以来4回目の開催となります。今大会は市民公開により、緑豊かなスマートシティ武蔵野で、懇親会は若者の街・吉祥寺で開催します。素ってご参加いただき、東京の街をお楽しみください。

開催日 平成29年 **11月9日(木)、10日(金)**

特別企画
市民公開セミナー
「虫による感染症とアレルギー」
シンポジウム
「PCOの未来を探る」

場所
武蔵野市立武蔵野市民文化会館
東京都武蔵野市 3丁目9-1
(三軒茶屋駅)から徒歩約14分、バス5分
電話 0422-54-8922

懇親会
会場 11月9日(木) 18:00～21:00
10日(金) 18:00～21:00
会場 吉祥寺駅 徒歩約5分
電話 0422-514311

地図

大会長 武蔵野市立武蔵野市民文化会館 館長 田中 治典
実行委員長 武蔵野市立武蔵野市民文化会館 副館長 田中 治典
副委員長 武蔵野市立武蔵野市民文化会館 副館長 田中 治典
幹事 武蔵野市立武蔵野市民文化会館 副館長 田中 治典
実行委員 武蔵野市立武蔵野市民文化会館 副館長 田中 治典

共催 武蔵野市 **後援** 東京都(予定)

(公社)東京都ペストコントロール協会の害虫相談所
として都民の害虫相談を行っています。
「ムシの日」イベントとして東京都港区の
「みなと区民まつり」に毎年出展しています。



(公社)東京都ペストコントロール協会の感染症予防
衛生隊として訓練に参加、東京都との協定による感
染症発生時の消毒作業に備えています



本年10月の19号台風では、多摩川の支流が氾濫、
大田区の実情により浸水宅の消毒に出動しました



本年11月、環境省の依頼により(公社)東京都ペストコントロール協会で東京港ヒアリ駆除を実施、
特定外来生物防除に取り組んでいます



2020年コロナウイルス・パンデミックでは、東京都ペストコントロール協会の感染症予防衛生隊の一員として消毒作業に従事しました。

